



## 子牛の寒冷対策と冬準備について

肌寒さが身にしみる季節となりました。本格的な冬到来に向け、子牛の寒冷対策と各種冬支度を行いましょう。

### □子牛の寒冷対策

子牛は、外気温が15℃を下回ると寒冷によるエネルギーロスが起こります。寒冷対策と十分な栄養補給を行い、寒冷ストレスを最小限にしましょう。

#### 【主な対策】

○子牛の身体を濡らさない

糞尿で身体(特に腹の下)を濡らさないように乾いた状態で管理する。

○子牛の身体を温める

ネックウォーマー、カーフジャケットを着せる、吊り下げ式ヒーターを使用するなど子牛の保温に努める。

○十分な栄養を給与する(代用乳の増給)

寒冷時は体温の維持に必要なエネルギーが多く必要である。増給時は、哺乳量を調節し、代用乳の濃度を変えないようにする。増給時は子牛が下痢になっていないか観察する。

### □冬に向けての準備

施設や機械の点検・メンテナンスを行い、万全な体制で冬を迎えましょう。

#### 【主な対策】

○施設の屋根は、雪の滑りをよくするため、ペンキを塗っておく。D型ハウスには、必要に応じて、鋸を支柱に入れる。

○シャッターは冬期間の開閉に不都合がないよう、必要に応じて修繕を行う。

○発電機は、冬期間の方が一に備え、試運転を実施しておく。

○余裕のある除雪体制がとれるよう、広めに除雪場所を確保しておく。

当センターHP→技術情報「乳牛・飼料作物ほか」もご参照ください。



HPは「宗谷農業改良普及センター」で検索、またはQRコードから